



AJEL

# 日本ラテンアメリカ学会 会 報



AJEL

2002年11月1日

No. 79

**1. 理事会報告**

## ○ 第100回理事会

**2. 第24回定期大会開催について****3. 研究部会****4. 2003年度FIEALC大阪大会分科会・  
個人発表申し込み期限のお知らせ****5. 事務局から****1. 理事会報告**

## ○ 第100回理事会

日 時：2002年10月5日(土) 13:30～15:30

場 所：上智大学中央図書館L-710会議室

出席者：今井圭子(理事長)、細野昭雄、山田  
陸男、後藤政子、二村久則、狐崎  
知己欠席者：松下洋、大串和雄、小池洋一、堀坂  
浩太郎、三田千代子、出岡直也

## &lt;報告事項&gt;

- (1) 落合一泰会員から、長期海外出張を理由に理事就任を辞退するとの申し出を受け、後藤政子会員に理事をお引き受けいただくようお願いし、同会員の承諾を得た旨理事長から報告があった。前回理事会での議決により後藤政子会員が理事に加わった。
- (2) 現在の理事、運営委員等の役割分担は以下の通りである。

## ○ 理事役割分担

事務局 堀坂

会 計 堀坂

会報編集 今井、出岡(2003年3月まで)、  
後藤

年報編集 狐崎、小池、大串

会員名簿編纂 松下

研究部会 東日本部会 三田、出岡  
(2003年3月まで)

中部日本部会 二村

西日本部会 松下

日本学術会議 三田

H P 三田

国際交流 山田、細野

24回大会 後藤、狐崎

\* FIEALC実行委員会副委員長 理事長

FIEALC実行委員 二村

## ○ 運営委員

年報編集 小泉潤二、斎藤文字、高橋均、  
内田みどり、新木秀和

研究会部会 東日本部会 本谷裕子

中部日本部会 水戸博之、  
田中敬一

西日本部会 柴田佳子

国際交流 松下マルタ

学会HP 田村梨花

- (3) 研究部会、会報、年報、定期大会、国際交流担当理事より、各活動報告があった。

- (4) FIEALC日本大会の準備状況と今後の取組につき山田理事より報告があった。

- (5) 日本学術会議からの関連研究連絡委員会指定に関する問い合わせに対し、9月20日付で従来どおり以下の優先順位で回答した旨、理事長より報告があった。

(研究連絡委員会名)	(関係部)	(優先順位)
文化人類学・民俗学	第1部	第1位
歴史学	第1部	第2位
語学・文学	第1部	第3位
国際経済	第3部	第4位

## &lt;審議事項&gt;

2名の会員の退会を承認した。

**2. 第24回定期大会開催について**

第24回日本ラテンアメリカ学会定期大会は2003年6月7日(土)、8日(日)に神奈川大学横浜校舎で開催致します。例年通り分科会、パネル、シンポジウム、招待講演などを予定していますが、できればラテンアメリカが抱える重要な問題について発信できる大会にしたいと望んでおります。次回はそのひとつの試みとしてシンポジウムと招待講演について以下のように分科会と結合した形で行うことに致しました。

## (1) シンポジウム

テーマ：「ラテンアメリカ」における1980年代のdécada perdidaおよび1990年代末のmedia década perdidaの原因分析と21世紀へ向けての提言」

※まず第1部として分科会の総括報告を受けた後、参加者による討論を行う。

## (2) 招待講演者とのシンポジウム

テーマ：「エスニック・アイデンティティは社会変革につながり得るか」

(地域、国、面、場からの研究)。

招待講演者：ベネズエラ中央大学のDaniel Mato博士(予定)。

従来のような講演会形式ではなく、招待講演者と日本側研究者による研究発表、シンポジウムという形を取る。

分科会、パネルおよび、上記の(1)または(2)のシンポジウムでの発表を希望される方は大会実行委員会まで以下の要領にしたがってお申し込み下さい。

### 大会発表申し込み要領

締め切り日：2003年1月15日

申し込み先：下記に郵送またはファックスにてお申し込み下さい。

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1  
神奈川大学外国語学部スペイン語学科  
共同研究室気付  
日本ラテンアメリカ学会第24回定期大会  
実行委員会  
(Fax. 045-491-6410)

申し込みには以下の点を明記して下さい。

- (1) 氏名
- (2) 所属
- (3) 連絡先(住所および電話およびE-mailアドレス)
- (4) 発表形式(分科会、パネル、シンポジウムの区別を明記)
- (5) 分野および題目
- (6) 使用機器の有無(使用の場合はビデオ、OHP、スライド、パワーポインターなどを明記)

なお混乱を避けるため、上記の住所およびファックス番号は発表申し込みに限らせていただきます。大会に関する質問等はE-mailにて大会実行委員の神奈川大学スペイン語学科後藤政子(mgot711@mx2.ttcn.ne.jp)または新木秀和(arak@air.linkclub.or.jp)までお願いします。

### 3. 研究部会

以下のとおり研究部会を開催しますので、多くの会員の方々の御参加をお願い致します。

- (1) 東日本部会(日程が迫っているので会員の方にはE-mailでも連絡してあります)。

日時：11月16日(土)15時～18時30分

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 第1校舎(2階)124番教室

テーマ：「ミクロな事例から見たメキシコの現在」

報告者および題目：

渡辺 暁(日本大学非常勤講師)

「選挙監視員としてみた民主主義定着の現状：メキシコ・ユカタン州の事例を中心に」

受田宏之(日本学術振興会特別研究員)

「メキシコ先住民の教育問題

ーケレタロ州サンティアゴ・メスキティトランのオトミーの事例を中心に」

禪野美帆(慶應義塾大学非常勤講師)

& 井上幸孝(日本学術振興会特別研究員)

「都市にのみ込まれた旧村落の文化ーメキシコ市南西部を中心にー」

なお会場アクセスは、

<http://www.keio.ac.jp/access.html>を、キャンパス内の会場位置は、そこから「三田キャンパス」の「キャンパスマップを見る」をご覧ください。

連絡先：出岡直也

E-mail: izuoka@law.keio.ac.jp

- (2) 中部日本部会

日時：11月30日(土)14時～17時半

場所：愛知県立大学スペイン語学科共同研究室

(外国語学部棟E-405)

報告者および題目：

掘 由美(名古屋大学大学院)

「ポルトガル語とスペイン語の対照研究ー副詞の強調詞的用法についてー」

大橋敏江(名古屋造形芸術大学教授)

「ナショナルリズムとジェンダー：メキシコ壁画運動第1号プロジェクトにおけるホセ・クレメンテ・オロスコの作品に関する一考察」

連絡先：

田中敬一(愛知県立大学外国語学部)

Tel. 0561-64-1111(ext.2604)

Fax. 0561-64-1107

E-mail: keiichi@for.aichi-pu.ac.jp

水戸博之(名古屋大学言語文化学部)

Tel/Fax. 052-789-4826

E-mail: k46240a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

- (3) 西日本部会

日時：12月14日(土)13時30分～

場所：神戸大学国際文化学部会議室

報告者および題目：

北森絵里(天理大学)

「ブラジル都市のヒップホップ：歌詞を通じてみる貧しい若者の言説的实践」

田中雅彦(日本学術振興会特別研究員PD)

「メキシコ・プレベチャ音楽『ピレクア』とエスニック運動の展開」

連絡先：柴田佳子(神戸大学国際文化学部)

Tel/Fax(研)078-803-7481

(自)078-857-8248

E-mail: yoshihat@kobe-u.ac.jp

なお、編集上の手違いにより会報No.78に東日本部会研究会(3月30日上智大学にて開催)の佐藤美由紀報告が掲載されませんでしたので、ここでお詫びし、掲載させていただきます。

## ブラジルにおける国際養子縁組—子どもの利益と国家の威信と

佐藤美由紀

1916年の民法典には国際養子縁組に関する規定はないが、ブラジルでは国際養子縁組は司法権の介入なく公正証書だけで代理人により広範に行われていた。1979年の少子法は初めて国際養子縁組につき決定したが、対象は遺棄されたか親が親権を喪失した子どもに限られ、親権下にある子どもについては代理人を通じた公正証書による縁組が行われ続けた。1988年憲法は国際養子縁組を明文で容認し、1990年の未成年者法は国内家族優先の原則を定めた。もっとも、国内の需要が肌の色の薄い健康な乳児に集中するため、そのような条件への執着の少ない外国人による養子縁組への影響は小さいとの観察もある。また、未成年者法は代理による養子縁組を禁じ、試験的共同生活を必須とし、事前調査を行う司法委員会を設置し、外国人利害関係人の中央登録管理制を導入した。なお、サンパウロ州の2000年の国際養子縁組は119件(国内養子縁組4,219件)である。

### 4. 2003年度FIEALC大阪大会分科会・個人発表申し込み期限のお知らせ

前回の会報(2002年7月1日)で詳細にお知らせしたFIEALC(ラテンアメリカ・カリブ海研究国際連盟)第11回大会に関しては、その後順調に準備が進められています。すでにポスターと英語と西語のサーキュラーが海外の主要ラテンアメリカ研究機関などに既に送られています。国内の主要な関連研究機関にもポスターを送る予定ですが、とくにご希望の向きは、事前に事務局にお申し出いただければ幸いです。海外からは、少しずつ参加申し込みなどが届きつつあります。

日本でこの種の国際大会が開かれることは、この機会を逃すと、今後ほとんどないと思われます。この大会にぜひ参加され、ついで海外での大会にも参加する会員の数が増えることを期待しております。

今後国内会員の皆様におかれましても、参加事前登録と研究発表申し込みと宿泊予約などが必要です。なお、この国際連盟は、個人会員を持たず、世界中の研究機関の連合体として運営されているものなので、個人の年会費などは不要ですが、大会参加希望者の登録と登録料の支払いが必要となります。詳細な情報入手、登録と登録料の支払い、宿泊予約などは、前回にもご案内いたしましたように、大会ホームページ(和文、西文、英文を選択できます)上で、オンラインまたはオフラインで簡単に行うことができます。インターネットを利用されない方は、事務局に対して郵便、メール、またはファックスで要領をご請求く

ださい。念のため、すべての会員の皆様のためにこの封筒に登録用紙と発表申し込み書を同封いたします。

問い合わせ・請求先:

〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1

国立民族博物館 4077号室

Fax: 06-6878-8360

E-mail: [fiealc03@idc.minpaku.ac.jp](mailto:fiealc03@idc.minpaku.ac.jp)

大会ホームページ: [www.pac.ne.jp/fiealc2003/](http://www.pac.ne.jp/fiealc2003/)

- ・ 分科会企画申し込みと編成者(司会)立候補の締切り期限: 2003年1月末日
- ・ 研究発表申し込み期限: 2003年3月末日
- ・ 希望分科会を明記していない個人発表の申し込みは、すでに提案された分科会に編入される可能性がありますのでご了承ください。
- ・ 研究発表は一人15分を限度とし、各分科会には、一定数の発表の後に、発表件数に比例する討論の時間を設けます。
- ・ 発表のための言語は、スペイン語、ポルトガル語、英語とし、そのいずれかによる抄録は、15行または250ワード以内とし、できるだけメール添付で分科会編成者と事務局に、2003年3月末までに送付してください。
- ・ メインテーマ: 「グローバリゼーションの経験と展望: ラテン・アメリカ、カリブ海、アジア、オセアニア」
- ・ 分科会枠の例示: メインテーマに関連した10本の柱が例示されていますが、ご自分の研究に即して自由に分科会企画と個人発表の題をお決めください。

用紙の返送先:

登録用紙は、JTB関西に、分科会企画と発表の申し込みは、大会事務局に、ファックスでお送りください。繰り返しますが、登録、宿泊予約、送金などは、大会ホームページ上でオンラインで行うこともできます。詳しくは、画面をご覧ください。

(文責 実行委員長 山田 睦男)

## 5. 事務局から

### I. 会員関係 (a b c 順)

- 村上勇介「1990年代ペルーの政治過程分析に向けた予備的考察：第1期目のフジモリ政治を見る二つの視角」『地域研究論集』第4巻1号(2002年3月)
- 佐野 誠 「グローバル化と小零細企業：ペルーの事例に関する予備的考察」『地域研究論集』第4巻1号(2002年3月)
- 柳田利夫編『ラテンアメリカの日系人：国家とエスニシティ』慶應義塾大学出版会、2002年
- Yamada, Mutsuo y Carlos Ivan Degregori, eds. Estados nacionales, etnicidad y democracia en América Latina. JCAS Symposium Series 15, JCAS, 2002.

### III. ホームページへの掲載について

会員の関与する内外の研究集会・シンポジウム・講演会等の情報を学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ajel/>)に掲載します。希望する会員は広報したい内容を簡潔にテキストファイルで作成して、学会事務局のEメールアドレスに添付ファイルとしてお送り下さい。

#### 編集後記

FIEALC大阪大会への参加、報告申し込み期限が迫っております。多くの会員の皆様の参加をお願い致します。また、当学会定期大会での研究報告にも奮ってご応募下さい。

(今井圭子)

No.79 2002年11月1日発行

#### 学会事務局

〒102-8554

東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学イベロアメリカ研究所

日本ラテンアメリカ学会事務局

TEL 03-3238-3530・3535

FAX 03-3238-3229

E-mail: m-matsu@sophia.ac.jp

事務担当理事：堀坂浩太郎

秘 書：松丸美佐子

## II. 寄贈図書

- 今井圭子「アルゼンチン経済危機の背景—構造調整モデルの行方—」『輸入食料協議会報』(2002年3月)
- 今井圭子「アルゼンチン主要紙による戦前の日本をめぐる報道」『上智大学外国語部紀要』(上智大学、第36号、2002年3月)
- 国本伊代『メキシコの歴史』新評論、2002年
- 三田千代子編『ブラジル「発見」500年：その歴史と文化』上智大学イベロアメリカ研究所、2002年

### 学会センターへの問い合わせ

住所変更・異動の御連絡および会費納入に関するお問い合わせは直接、日本学会事務局センターまでお願いします。

(財)日本学会事務局センター大阪事務所気付

日本ラテンアメリカ学会担当 中倉佳奈子

〒565-0082 豊中市新千里東町142

千里ライフサイエンスセンタービル14階

Tel. 06-6873-2301 Fax. 06-6873-2300

受付時間 9:30-5:30 (土日休み)